

2024年5月31日

お客様各位

九州産交バス株式会社
産交バス株式会社
熊本電気鉄道株式会社
熊本バス株式会社
熊本都市バス株式会社

全国交通系 IC カードのサービス停止とクレジットカード等の タッチ決済機器導入について

この度、各社運行する路線バスと、熊本電鉄電車の決済手段について、全国交通系 IC カードを停止し、新たにクレジットカード等のタッチ決済※1 導入の方針を固め、熊本県と熊本市に要望を行いました。（5月23日付け）この件に関して、現時点でお知らせできる内容を公表いたします。

※1 タッチ決済は、国内外で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にリップルマークのある国際ブランドのタッチ決済対応のカード（クレジットカード・デビット・プリペイド）または、同カードが設定されたスマートフォン等をタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用頂ける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設等の店舗だけでなく、公共交通機関への導入も進むなど、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。

記

1.概要

①2024 年内（12 月中旬を予定）に全国交通系 IC カードのサービスは停止いたしますが、くまモンの IC カードは継続いたします。

②全国交通系 IC カードの代わりにクレジットカードのタッチ決済等が対応可能な読取機器の導入を目指すことといたしました。導入は年度内（3 月頃）を予定しております。

上記内容で国、熊本県、熊本市の支援が得られれば今年度中にも導入する予定です。

■現状の決済手段

- ・くまモンの IC カード
- ・全国交通系 IC カード
- ・現金等

くまモンの IC カード + 全国交通系 IC カード



■新決済手段

- ・くまモンの IC カード
- ・クレジットカード等のタッチ決済
- ・QR コード※2 読取（検討中）
- ・現金等

くまモンの IC カード + クレジットカード等のタッチ決済 + QR コード読取



※2 QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2.上記に至った経緯

今回の決済手段変更に際しましては、小児・高齢者・障がい者割引や定期券としての利用など、県民の皆様の利便性向上に資するくまモンのICカードシステムの優位性を発揮しつつ、TSMC進出による外国人労働者やインバウンドの増加に伴うキャッシュレス決済の多様化やスマホ決済の利用増等の昨今の状況を考慮し、より多くのお客様のニーズに応えられるよう、全国交通系ICカードの代わりにクレジットカード決済等が対応可能な読取機器導入を目指すことといたしました。また、費用についても既存の機器をそのまま更新することに比べ、約半分のコストで更新が可能であることから、経営の効率化を実現できると考えております。

(参考) 利用者の状況(R5年度)

支払種別	路線バス		電鉄電車		合計	
	構成比	利用者	構成比	利用者	構成比	利用者
全国IC	24%	537万人	18%	28万人	24%	565万人
くまモンIC	51%	1,136万人	57%	90万人	51%	1,226万人
現金その他	25%	563万人	25%	40万人	25%	603万人
合計	100%	2,236万人	100%	158万人	100%	2,394万人

(参考) 更新費用比較

	くまモン+全国交通系IC	くまモン+クレジット等のタッチ決済
費用(百万円)	1,210	674

3.Q&A

<p>①新たな決済端末が導入されることによるお客様のメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチ決済対応のクレジットカード、デビットカード、プリペイドカードや同カードが設定されたスマートフォン等にて、公共交通における運賃決済が可能となります。 ・クレジットカードにおいては事前のチャージも不要になる等、利便性が向上します。 ・タッチ決済での交通乗車時の処理速度についても、現行の交通系ICに引けを取らない水準であり、ストレスなくご利用いただけます。 ・また、普段の交通乗車でお客様所有のクレジットカード等のポイントが付く点もメリットの1つと考えています。
<p>②便利になるお客様について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元のお客様に加え、国内、海外含めた来訪者の利便性は特にならると考えています。 ・TSMC進出による外国人労働者やインバウンドの増加に伴う対応の一つとして、クレジットカード等のタッチ決済の導入は効果的であると考えています。 ・タッチ決済は日本でも徐々に広がりを見せておりますが、特に海外では広く普及しており、グローバルスタンダードになりつつあります。 ・特に海外では、約750以上の公共交通機関でタッチ決済が導入されております。 ・国内においては、全国交通系ICカードは累計発行枚数約2億枚(JR東日本メカトロニクス(株)公表)に対して、クレジットカードは約3億枚(JCCA公表)流通しています。 ・タッチ決済による交通乗車スキームを導入される交通事業者が全国的に増加しており、タッチ決済が県内外居住者双方に馴染みのある交通乗車手段になると考えています。
<p>③くまモンのICカードの継続利用について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在バス利用者の内、くまモンのICカードは全体の5割以上の方にご利用いただいております。 ・くまモンのICカードは今回導入する新端末に対応しており、日常的にご利用いただいている「共通定期券」や「おでかけIC」などの地域独自のサービスもそのまま利用可能です。
<p>④QRコードについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新端末は、QRコードを読み取りできるカメラを用意しています。 ・具体的にはMaaSアプリ等を活用したQRコード利用も技術的に可能となることから、スマホ上で購入できる乗車券(デジタルチケット)を用いて、乗車ができるようになります。例えば、1日乗車券について降車時にQRコードの活用ができないか検討しております。 ・PayPay等のQRコード決済について、現時点では導入予定はございません。

<p>⑤くまモン！Payについて</p>	<p>・くまモン！Payについては、肥後銀行のリリース以上の情報を持ち合わせておりませんが、国際ブランドのプリペイドカードとのことなのでバスでの決済でも利用可能と思われます。詳細は肥後銀行のプレスリリースをご覧ください。 (https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=2720)</p>
<p>⑥クレジットカードを作れないお客様について</p>	<p>・くまモンのICカードが使えます。 ・クレジットカードの他にも、国際ブランドのタッチ決済対応であれば、プリペイドカードやデビットカード（15歳以上）もご利用いただけます。 なお、プリペイドカードやデビットカードの場合、与信審査が不要であり、若年層も保有できます。詳細は公表時にご説明いたします。</p>

【参考】クレジットタッチ決済の九州エリアの状況について



4.今後の公表について

サービスの詳細や具体的なスケジュールが整い次第、改めて、夏頃公表予定です。

本件に関するお問い合わせ
共同経営推進室 TEL:096-312-0588